

【教員向け】

新型コロナウイルス感染症対策 対面授業実施についての注意事項

2021年3月17日

対面授業等の実施に際し、文部科学省発行の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」(改訂版)」(令和2年9月3日付)及び「大学における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドライン」(令和2年6月5日付)に基づき、都留文科大学における新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインをまとめました。大学のある都留市へレベルの違う地域から教員、学生が通勤、通学する点を認識した上で、新型コロナウイルス感染症の感染防止と学生・教職員の健康・安全面を考慮して策定したものです。全ての授業において以下の要件を満たすようご理解・ご協力のほどお願いいたします。

1. 密閉・密集・密接の「3密」防止として授業の環境を整えてください。

(1) 密閉の回避：換気を可能な限り常時、困難な場合はこまめに行ってください。

- ・使用している教室の施設に応じて、有効な換気を行ってください。できれば2方向対角の窓やドアを常時開放してください。常時が困難な場合、教員は授業が終わった後に、学生の協力を得て廊下側と教室側を同時に5～10分程度全開放してください。(教室に換気扇やエアコンの換気機能がある場合には適宜、ご活用ください。)

①窓のない部屋

常時入口を開けたり、少なくとも1時間に1回は十分に換気に努めてください。また、使用時は人の密度が高くないようにしてください。

②体育館のような広く天井の高い部屋

換気は感染防止の観点から重要であり、広く天井の高い部屋であっても換気に努めるようにしてください。

③エアコンを使用している部屋

エアコンは室内の空気を循環しているのみで、室内の空気と外気の入れ替えを行っていないことから、エアコン使用時においても換気はしてください。

(2) 密集の回避：人との間隔はできるだけ2m(最低1m)を確保してください。

- ・文科省の作成した衛生管理マニュアル「新しい生活様式」(学校における行動基準 9月3日の改訂)では、レベル1・レベル2の地域において、教室での身体的距離を1m空けることが推奨されています。授業・ゼミ等においては可能な限り身体的距離を確保する工夫をしてください。

(3) 密接場面の対応：近距離での会話を避け、マスクを必ず着用してください。

- ・5分間の会話は1回の咳と同じ扱いとなります。マスクを必ず着用してください。(フェイスシールド、アクリル板を使用する場合も基本的にマスクを着用してください。)ただし気候状況等により熱中症が心配される場合は、換気やソーシャルディスタンスの配慮を行った上でマスクを外すようにしてください。
- ・授業・ゼミ等においては対面回避につとめてください。

(参考)フェイスシールドの活用について ※新任教員に1人1枚を配布します。

フェイスシールドが飛沫を飛ばすことを防ぐ効果については、分かっていない点が多いとされる一方で、フェイスシールドはしていたがマスクをしていなかった状況での感染が疑われる事例があったことから、-中略- マスクなしでフェイスシールドのみで大学内で過ごす場合には、身体的距離(2m)をとることが望ましいと考えられています。※「衛生管理マニュアル」より抜粋

→ よって、フェイスシールドは基本的にマスクを着用して使用してください。

2. 徹底した感染防止策を実施してください。

(1) 体調管理は基本的に自己管理をしてください。

- ・学生・教職員は行動記録表等に**毎朝の体温、体調、行動**を記入してください。
- ・発熱(平熱より1℃高い場合)や倦怠感などの**体調不良**があるときには出勤しないで休養してください。その場合は速やかに保健センターに電話で相談して下さい。基本的に、発熱や症状が軽快して2日は自宅療養していただきます。また、新型コロナウイルス感染症に罹患した、濃厚接触者となった場合も保健センターに連絡して下さい。
- ・非接触性体温計を保健センター、各学科事務室、各センター等に設置してあります。授業において検温が必要な場合は、貸出します。希望する場合は保健センターに30個ほどありますのでお問い合わせください。
- ・施設の入口※1に**サーモマネージャー※2**を設置しています。これは体調不良が疑われる場合、もしくは未計測者の対応が目的です。授業が始まる前にご自身の体調を確認してください。
 - ※1 入口が1箇所限定できない施設においては、複数箇所に設置しています。
 - ※2 一定以上の体温を色とアラートで知らせる機能があるタブレット型の装置
- ・教員は授業の度に学生全員の検温をする必要はなく、学生が体調不良や症状がある場合は授業を受けさせず速やかに帰宅させ、保健センターに電話連絡するように指導してください。

(2) マスクは必ず着用してください。

- ・学校教育活動においては、近距離での会話や発声等が必要な場面も生じうることから、飛沫を飛ばさないよう、学生等及び**教職員**は、**基本的には常時マスクを着用**してください。教壇には透明の亚克力版を設置していますが、対面での講義の際は学生と2m以上の距離をとるようにして下さい。
- ・授業で、グループワークなど学生同士で会話をする場合は対面にならず斜め向かいに座るなど工夫をしてください。
- ・気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外してください。その際は換気や学生等の間に十分な距離を保つ、対面での会話は控えるなどの配慮をお願いします。

(3) 手洗い・手指の消毒を行ってください。

- ・手洗いは、共用部分を使用した場合等にトイレに設置してある自動石けん等を使って行い、手洗後は個人のハンカチ・タオル等を使用してください。
- ・各施設の入口に消毒薬を配置しますので、施設に入るときには手指の消毒を行ってください。構造上、入口が限定できない施設においては、消毒薬の設置場所を複数個所に特定します。手指消毒薬の使用・物品等については、保健センターが随時対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

(4) 授業で共用する物品の消毒について

- ・各施設において、施設清掃業者等が日に1回、教壇・ドアノブ・机等の拭き掃除及び0.05%の次亜塩素酸ナトリウムでの消毒を行います。
- ・大学で施設に設置してあるパソコン使用については、手洗いを使用前後で必ずしてください。必要に応じてキーボードカバーにサランラップを使用してください。使用後のサランラップは指定のゴミ箱に捨てましょう。
- ・授業で共用する物品の消毒については、各学科事務室、非常勤講師室、音楽棟・美術棟・自然科学棟・4号館体育教官室などの事務室に「消毒セット」を用意していますので授業で教室等を利用する場合はご活用ください。数に限りがありますので使用後は必ず設置場所に返却してください。セット内容や欠品等については保健センターにお問い合わせください。

※「消毒セット」の内容

使い捨て手袋、アルコール消毒シート、アルコール消毒シート、PC用ラップ、ゴミ用ビニール袋(消毒の際に出るゴミを入れてゴミ箱に捨てるもの)など。

(5) 健康意識を高めていきましょう

- ・免疫力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」及び「バランスの取れた食事」を心がけましょう。
- ・コロナ禍において体調面で心配や不安なこと、学生について気になる点などがありましたら、保健センターの健康相談・学生相談をお気軽にご利用ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の予防接種（ワクチン接種）は努力義務となります。集団免疫の意義や正しい知識を得て行うようにして下さい。また、冬季に向けては、流行を想定し季節性インフルエンザの予防接種をお勧めします。
- ・学生たちには教室以外の場所においても適切な行動を取るよう、繰り返し指導をお願いいたします。
- ・厚生労働省が作成した新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を携帯電話にインストールしてください。いざというときのために、それ以上感染を増やさないために行動の記録が必要です。

**体調管理や感染防止策のご相談、消毒セットの補充については
お気軽に保健センターにお問い合わせください。**

保健センター 0554-43-4341 内線 601

令和2年9月7日付文章、文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」参照

令和2年6月5日付文章、文部科学省「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインについて」参照

 <p>sleep well よく寝る</p>	 <p>eat well よく食べる</p>	 <p>don't touch your face 目鼻口をさわらない</p>	 <p>use your sleeve 袖でかくす</p> <p>cover your nose and mouth 咳のしぶきを飛ばさない</p>
<p>All we have to do to prevent infection is simple.</p> <p>The new Coronavirus 新型コロナウイルス COVID-19</p>  <p>stay home 家で過ごそう</p>	 <p>wash your hands frequently ひんぱんに手を洗う</p>		 <p>disposable tissues ティッシュでかくす</p>  <p>exercise 運動をする</p>
 <p>2m maintain social distancing 距離を取ろう</p>		 <p>use your non-dominant hand 利き手で「あちこち」さわらない</p>	 <p>self-isolate when you're sick かぜ気味なら休む</p>

感染予防のために、できること。 ver.2